

令和3年度 第2回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議 会議録

○ 日 時

令和3年11月8日（月）午後1時30分～2時50分

○ 会 場

諏訪市役所 5階 大会議室

○ 出席者

＜諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員＞

中嶋博美委員、岩波寿亮委員、白木智康委員、茅野昭一委員、小山靖委員、
高野健光委員、宮坂哲也委員、山崎三千代委員、片山貴博委員、佐久秀幸委員、
有賀仙太郎委員、金子ゆかり委員

＜諏訪市まち・ひと・しごと創生本部委員＞

後藤副市長、松木総務部長、前田企画部長、金子市民環境部長、守屋健康福祉部長、
中島経済部長、樫尾建設部長、茅野水道局長、細野教育次長、藤森議会事務局長

＜事務局＞

寺島企画政策課長、下澤企画政策係長、茅野企画政策係主査、前田企画政策係主査

○ 欠席者

＜諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員＞

宮坂友子委員、櫻井哲朗委員、牛山久仁彦委員

○ 会議概要

- ・諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証結果（案）を説明し、令和2年度の諏訪市の地方創生に対する取組やその成果について確認。有識者会議としての効果検証を実施した。

○ 会議録

1 開会

（前田企画部長）

- ・令和3年度第2回諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催する。
- ・本日委員総数15名のうち、出席者は12名。諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱に定められている、委員の半数以上の出席があることを報告する。

2 市長挨拶

（前田企画部長）

- ・諏訪市長金子よりご挨拶申し上げます。

（金子市長）

- ・本日はお忙しい中、令和3年度第2回の諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議にご出席いただきありがとうございます。
- ・新型コロナウイルス感染症のまん延があり、この2年間、社会的活動、経済活動等におい

て大変厳しい状況を経験してきた。

- ・総合戦略はこれからの人口減少社会において、地方の魅力を失わないとともに、人口減少を緩やかにするための施策を組み合わせるもの。計画の進行状況を定期的に検証していくことが必要である。
- ・今年度第1回の会議では地方創生交付金事業の実施結果について、様々なご意見をいただいた。本日の会議の目的は、地方創生総合戦略本体についての効果検証である。
- ・感染症の影響を大きく受けた1年であり、数値にもその影響が表れている。庁内で効果検証を実施する本部会議でも話題となった。
- ・数値目標、KPIといった数値だけを見て終わるのではなく、この先の時代に必要な取組につながる効果検証としていきたい。
- ・本日も有意義な会議となるよう、よろしくお願いいたします。

3 委員委嘱

(前田企画部長)

- ・ここで委員1名が変更となった。
- ・諏訪市長金子より委嘱状を交付させていただく。

(金子諏訪市長)

(※片山委員に委嘱状を交付)

(片山委員)

- ・この会議が有意義な場になるように貢献していきたい。皆様よろしくお願いいたします。

(前田企画部長)

- ・以降の進行は会長である金子諏訪市長にお願いします。

4 議事

(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について

①効果検証について

(金子会長)

- ・それでは議事に入る。
- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」
- ・まずは「①効果検証について」、事務局から説明をお願いします。

(下澤企画政策係長)

※資料1に基づき説明

(金子会長)

- ・この内容について、質疑等ありますか。
- (意見なし)

②諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証結果(案)

(金子会長)

- ・続いて「②諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証(案)」。

- ・まずは概要について説明。その後、4つある柱ごとに説明を受けていく。
- ・概要と一之柱まで、事務局から説明をお願いします。

(寺島企画政策課長)

※資料2を基に、概要について説明

(茅野企画政策係主査)

※資料2を基に、一之柱の効果検証結果について説明

(金子会長)

- ・補足させていただく。次期総合計画にも関連してアウトプット指標、アウトカム指標の説明があった。例えば、道路整備が進まず渋滞が発生している場所があり、今後1kmを整備するという目標を立て結果500m整備が進んだというのがアウトプット。道路を整備したことで経済効果がどのくらい生まれるというのがアウトカムという考え。
- ・この内容について、質疑等ありますか。

(意見なし)

(金子会長)

- ・全て説明した後にも振り返って意見をいただく機会を設ける予定。後ほど意見をいただいても構わない。

(金子会長)

- ・二之柱について、事務局から説明をお願いします。

(茅野企画政策係主査)

※資料2を基に、二之柱の効果検証結果について説明

(金子会長)

- ・この内容について、質疑等ありますか。

(A委員)

- ・社会増の傾向にあるということはすばらしい。
- ・諏訪市に住んでいる方が高校卒業後に東京の大学へ進学して、その後地元に戻って就職したというものも含まれるのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・社会増に含まれるが、学生である間は住民票を実家のある市町村から動かさない方もいる。

(A委員)

- ・全ての数字はわからないということか。

(茅野企画政策係主査)

- ・全ての方を対象とした正確な数字は不明な状況。ただし、傾向として大学卒業時の年齢層の住民がどれだけ転出入したかは把握している。

(B委員)

- ・生産年齢人口というのは何歳から何歳位の方を指すのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・16歳から64歳までを生産年齢人口としている。

(B委員)

- ・年代別に10代ほどのくらいの人数、30代ほどのくらいの人数という人口ピラミッドのよ
うなものはあるのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・諏訪市人口ビジョンに掲載している。形としては年々逆三角形型になってきている。
- ・人口ビジョンはホームページに掲載をしている。

(金子会長)

- ・三之柱について、事務局から説明をお願いします。

(茅野企画政策係主査)

※資料2を基に、三之柱の効果検証結果について説明

(金子会長)

- ・この内容について、質疑等ありますか。

(C委員)

- ・諏訪圏域内の他市町村のデータも踏まえた説明がありわかりやすかった。
- ・人口の増減について、茅野市や富士見町の方が人口の減り方が緩やかではないかという気
がしていた。住宅ローンもそちらの物件での利用が多い。一方で岡谷市方面は住宅ローン
の利用が少なくなっているという現象がある。土地の問題なのか。
- ・市街地に近いという強みはあると思うが、この状況について分析をしているのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・家を建てるというライフイベントに付随した転入転出は多々あると考えている。
- ・諏訪市と比較して、茅野市や富士見町、原村といった山麓方面の土地が安いということは
事実。土地が広く残っているところも多く、分譲もしやすい。金銭的な面では、バブル期
のような大きな差はないが、価格としてはやはり山麓方面が有利であるとする。
- ・社会増減を見ると諏訪市は徐々に右肩上がりとなり、社会増に転じている。近年最も減少
したのはリーマンショックの影響を受けた年。その次の年からは回復傾向が続いている。
景気が良くなると同時に諏訪市に人が転入してきている。
- ・職場に近いところ、買い物に便利なところということが強みではないかと考える。その環
境を生かしたPRが今後必要になると分析している。

(D委員)

- ・茅野市や富士見町、原村はまだ土地が多く残っていることから、開発もしやすい。
- ・不動産業界でも関係人口創出に動いている。コロナの影響もあつてか、東京にある大手企
業に勤めている方がテレワークをしている。会社は東京だが、諏訪に住んでいて東京には
月に1度くらい行けばいいという方もいる。

(E委員)

- ・どの年代が諏訪市からどのくらい流出したか、流入したかは毎年分析している。家を建て
る年代とその子供世代と一緒に諏訪圏内の近隣に転出する傾向があった。
- ・昨年は諏訪圏内から移り住んできた方が多くなっている。諏訪市は製造業もあるが、第三
次産業も多い。利便性がある、働く場所が充実しているという利点を生かしていく必要が

ある。それに対して目標を立てて取り組むことが重要。

(F委員)

- ・諏訪市は空き家が目立つが、富士見町にはほとんど物件がない。町の担当者からも空き家が無くて困っているという相談を受けたことがある。
- ・空き家に入ろうとする方は都会から来る方が多い。そのような方は家の庭で畑作業もしたいというような考えを持っている。農業という点も移住のポイントになると思う。

(G委員)

- ・先ほど出産前後のサポート体制整備という項目の中で、感染症を理由にうまくフォローができないという話があった。当然親御さんの立場からすると感染防止が重要。一方で特に若い世代においては、話を聞いてほしい、質問したいというニーズも潜在的にあると思う。
- ・例として、オンラインでのサポート窓口を設けたりしているのか。

(守屋健康福祉部長)

- ・今まで福祉というのは、できるだけ対面で寄り添うことを基本としてきたが、コロナ禍で福祉のあり方自体を考えていかないと、十分に寄り添えないとも考えている。
- ・リモートでいろんな情報を提供したり話ができる体制を作るため、児童センターと保健センターに設備を配置し、今年度から徐々に発信をしている。

(H委員)

- ・子育て相談の件数が増えているということだが、既存の相談とコロナを原因とした相談、重い相談と軽微な相談の割合というのはどのようになっているのか。

(守屋健康福祉部長)

- ・相談がコロナに限らず多様化、複雑化している。個々の相談については、当事者からすると当然全て重い相談。特に種別はなく積み重ねた結果を把握している。
- ・しかしながら、コロナ禍において自粛等により家にこもることが増えた結果の相談も多くあった。

(金子会長)

- ・四之柱について、事務局から説明をお願いします。

(茅野企画政策係主査)

※資料2を基に、四之柱の効果検証結果について説明

(金子会長)

- ・四之柱はコロナの影響を大きく受けた。設定した指標が影響を受けやすいものであったということもある。
- ・この内容について、質疑等ありますか。

(I委員)

- ・数値目標に市民満足度が設定されている。防災、生涯学習に対する満足度は向上し、健康づくりに対する満足度は若干低下している。
- ・コロナの影響によってサービスの提供ができなくなり満足度が低下しているのか、それ以外に原因があるのかの分析をしているのか。

(茅野企画政策係主査)

- ・満足度が低下しているものについて、イベントを満足に実施できなかったということは要因の一つとなっている。
- ・健康づくりについては、コロナ禍で改めて注目されている分野であるが、感染症に対する不安も大きくなった結果である。
- ・満足度は毎年度上下しているが、防災については、近年災害が多く発生し関心が高まると同時に満足度も上昇傾向にあると分析している。

(J委員)

- ・大学等を卒業して就職した当初は諏訪市に居住し、子育て期になると持ち家を他の市町村に求めるという傾向があるとの説明があった。これは仕方ないかもしれない。しかし、リーマンショックで底打った社会減が回復してきているということは強み。
- ・景気が良くなると製造業が集積している諏訪市に人が集まってくる。そういう強みを更に強化していくような施策を展開、PRして、更に強みを伸ばしていくことを期待したい。

(K委員)

- ・感染症の影響を受けた項目がたくさんあると思うが、令和3年度の目標値は変更しないということによいか。

(茅野企画政策係主査)

- ・客観的な数値として効果を検証するため目標値の変更はしない。
- ・ただし、7月に実施した交付金事業について、国から示された報告様式では、コロナの影響について分析を求められている。数値以外の面での内容分析は必要である。

(K委員)

- ・KPIだけを見ると努力が必要という項目が多く見えてしまい、しっかりと取り組んでいないと判断されてしまわないかと考え質問させていただいた。
- ・安心安全ということが大切だと思っている。息子が通う小学校でコロナ感染者が報告されたときには、保健所の方に対応していただいた。
- ・学校もすぐに閉鎖されて5~6日位休みとなったが、先生たちが宿題やプリント等を届けてくれた。こういった努力が安心につながる。
- ・市長の広報放送もあったが、感染しない、感染させないことを市民の皆さんがしっかり守ってきたから、クラスターが出ることもなく今を過ごせている。素晴らしい安心安全なまちだということが改めてわかった。

(L委員)

- ・このコロナの影響が、5年後10年後どのように出てくるのかということを考えながら今日の会議を聞いていた。
- ・環境の問題、人のキャリアや働き方、雇用の問題がある。企業がこれからどのように競争していくか、人を獲得していくかを考えるきっかけにもなる。
- ・数値を追うだけではなくて、今何ができるのか、自分自身も考えさせられた。
- ・諏訪市でどのようにこれから生きていきたいのか、市民全体でも考えるきっかけの一つになればよいと思った。

(金子会長)

- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について」、本日お示した内容を有識者会議の効果検証結果としてもよいか。同意いただける方は挙手願います。

(※全員挙手)

(金子会長)

- ・ありがとうございました。では、これを有識者会議の効果検証とさせていただく。今後、庁内での本部会議で最終確認をして、最終結果を確定していく。
- ・限られた時間の中ではあったが、忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。
- ・令和4年度からは第六次諏訪市総合計画の計画期間となる。我々の住むまちが、みんなが生き生きと働いて、安心して子育てもしやすいまちにしたい。
- ・目標を達成できるように日々努力していきたい。有識者の皆様においても、お気付きのことがあれば遠慮なくご意見をお寄せいただければありがたい。
- ・以上をもって、議事を終了とさせていただく。ご協力ありがとうございました。

5 その他

(前田企画部長)

- ・様々なご意見をいただき、ありがとうございました。
- ・事務局から事務連絡をさせていただく。

(茅野企画政策係主査)

- ・令和3年度の有識者会議は、この第2回をもって終了となる。
- ・今年度までが現在の総合戦略の計画期間となっていることから、この形での効果検証は来年まで続く。来年度もよろしく願いいたします。

6 閉会

(前田企画部長)

- ・閉会のご挨拶を、副会長の高野様よりお願いいたします。

(高野副会長)

- ・コロナは想定外の出来事。実績値について努力が必要という項目が多かった。
- ・しかし、コロナを経験しわかってきたことも多々ある。ふるさと寄附件数、空き家バンクの利用者、支援センターでの支援相談件数の増加はコロナの影響が多分にあると思う。
- ・結果を取り込み、より良い取組にすることが重要。次の計画にも生かしていただきたい。
- ・分析の結果を聞いて、人を増やすためにはまず働き口があることが必要だと思った。
- ・製造業が多く集積していることが人口の維持にもつながっているのではないかと考えている。働き場の確保は非常に大事。
- ・土地が安い、広い場所があるという物理的な問題は解決しない。しかし、強みと弱みを上手くミックスすれば人口は増えていくと思う。
- ・コロナ、しごと、物理的な住環境といったものをうまく組み合わせていけば、より良いものになると思う。私も期待しながら、お手伝いさせていただきたい。
- ・本日はありがとうございました。

(前田企画部長)

- ・ありがとうございました。会議はこれで終了となります。
- ・委員の皆様、本日お忙しいところ誠にありがとうございました。

(閉会 14 時 50 分)